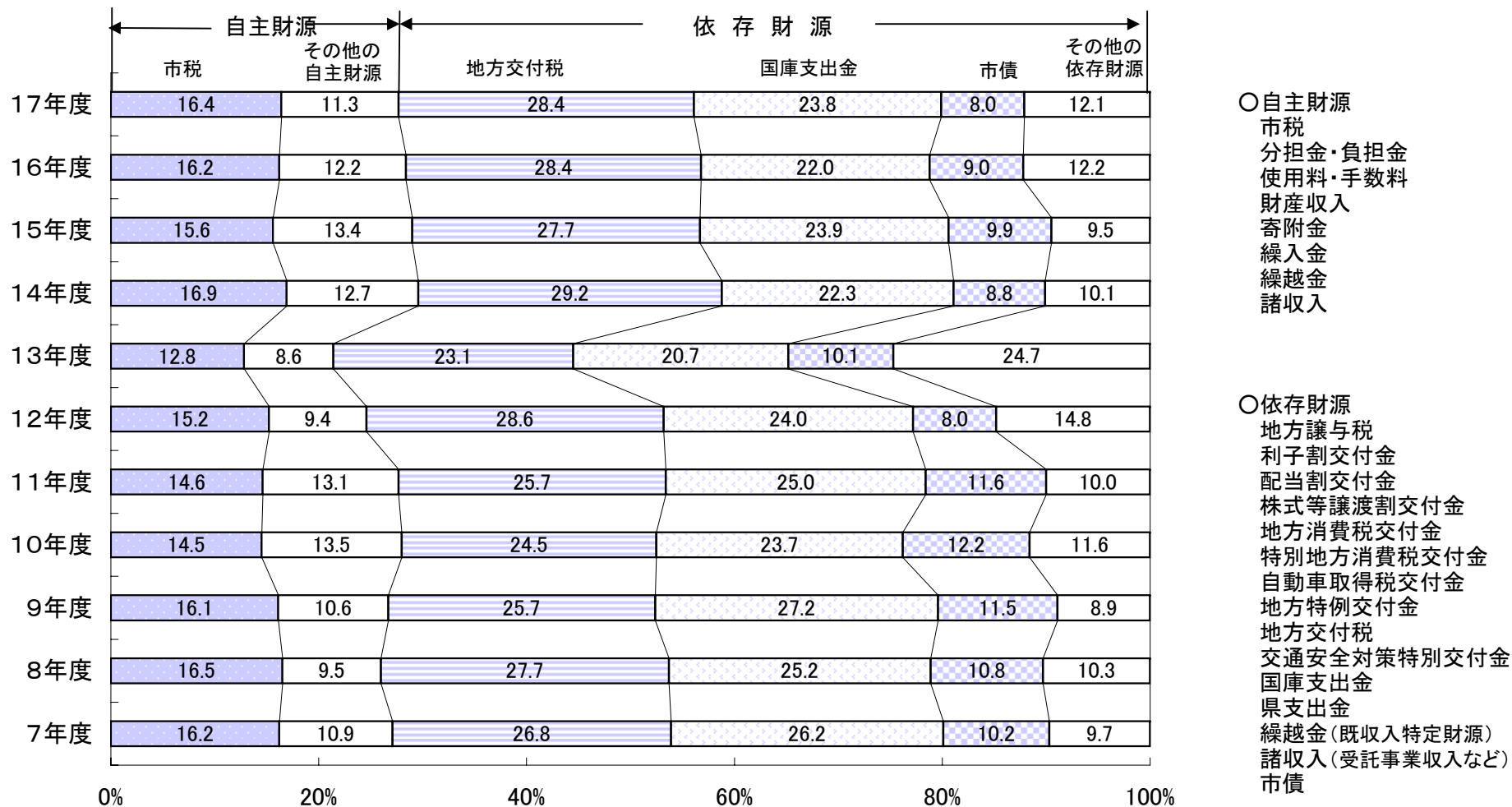


(3) 自主財源と依存財源の推移



- 自主財源
 - 市税
 - 分担金・負担金
 - 使用料・手数料
 - 財産収入
 - 寄附金
 - 繰入金
 - 繰越金
 - 諸収入

- 依存財源
 - 地方譲与税
 - 利子割交付金
 - 配当割交付金
 - 株式等譲渡割交付金
 - 地方消費税交付金
 - 特別地方消費税交付金
 - 自動車取得税交付金
 - 地方特例交付金
 - 地方交付税
 - 交通安全対策特別交付金
 - 国庫支出金
 - 県支出金
 - 繰越金(既収入特定財源)
 - 諸収入(受託事業収入など)
 - 市債

自主財源とは、自治体自らが決定し収入し得る財源であり、これが多いほど行政活動の自主性と安定性が確保される。

田川市の場合、自主財源比率は全体の3割弱、うち自主財源の根幹である地方税は2割を満たない状況が続いており、行政改革のもと、自主財源の確保、強化に努めているところである。

(※参考 県内24市(政令市を除く)平均における16年度自主財源比率は全体の約4割、うち地方税は3割弱である)

なお、平成13年度に自主財源比率が激減しているが、これは特定農業施設の管理資金(53億円強)が一括納入され歳入全体を引き上げたためである。